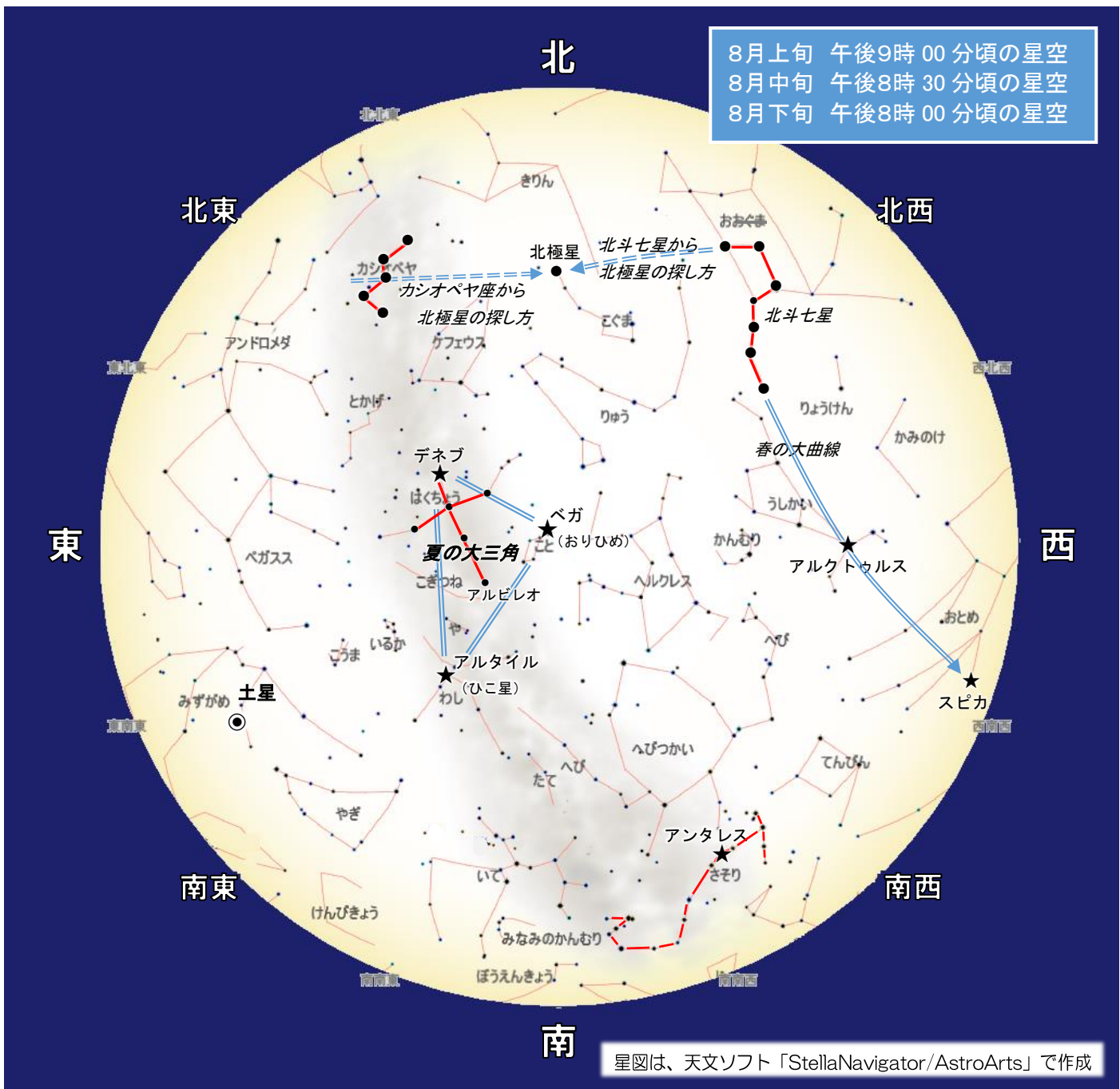


2023年 8月の星空案内



8月上旬 午後9時 00 分頃の星空
 8月中旬 午後8時 30 分頃の星空
 8月下旬 午後8時 00 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【8月の星空と惑星・月】

天頂付近に「夏の大三角」が見えます。七夕の星 こと座の「ベガ(おりひめ星)」、わし座の「アルタイル(ひこ星)」と はくちょう座の「デネブ」を結びます。もともと七夕は旧暦7月7日(今年は8月22日)の行事で、この日を「伝統的七夕」と呼びます。白鳥座のくちばし部分にある「アルビレオ」は二重星、望遠鏡では黄色い3等星と青い5等星が寄り添う姿が見られ、宇宙の宝石とも呼ばれています。

東の空からは土星が昇ってきます。28日には「衝」(地球から見て太陽の反対側)の位置にくるので、一晩中見ることができます。また、今月は2日と31日に満月が見られます。31日の満月は、地球から最も近い位置で満月なります。地球に近い満月を「スーパームーン」と呼ぶことがあります。

【ペルセウス座流星群(条件:良好)】

13日(日)は、3大流星群の1つ『ペルセウス座流星群』の極大日です。今年は8月16日が新月なので、月明りの心配が全くなく、一晩中最良の条件で観察できます。ペルセウス座は北北東からのぼってきますが、流れ星は四方八方に飛ぶので、空全体を眺めるのがおすすめです。

月刊「星ナビ」参照